

予 算 要 求 資 料

令和3年度9月補正予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 スマート農業推進センター機能拡大事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部農政課スマート農業推進室 電話番号：058-272-1111(内 2809)

E-mail： c11411@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 15,359千円 (現計予算額：0千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	15,359	0	0	0	0	0	0	0	15,359
決定額	3,000	3,000	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

農業従事者の高齢化や労働力不足といった農業の構造的な問題がある中、スマート農業技術の導入により、省力化や技術向上を図り、産地競争力の維持・強化を図ることが喫緊の課題となっている。

そうした中、県ではスマート農業の普及に向けて、昨年のスマート農業推進センターの運用開始に加え、中山間地域でのスマート農業推進に向け、本年度よりセンター機能の全県展開し、地域の実情に即したスマート農業機器の貸出や研修会の実施に取り組んでいるが、中山間地域を中心にスマート農業機器の貸出要望が多く、農業者の声に十分こたえられていない状況になっている。また、果樹は他品目と比べスマート農業技術の導入が遅れている。

また、データを活用した農業(農業DX)にはデータを収集、活用するためには、多くの農業者が不得手とするデジタル機器の活用が必要不可欠であるが、デジタル機器の扱いに抵抗感を示す農業者が多く、農業DXの取り組みが一部産地に留まっている。

そこで、導入効果の高いスマート農業機器の貸出機の充実を図り、これらの機器の貸出を通じてスマート農業の更なる推進を図る。

(2) 事業内容

○スマート農業機器貸出事業（0千円→15,359千円）

- ・ スマート農業推進センター等に貸出機器を追加配備し、省力化効果や効率的な営農体系の構築に資する機器を農業者が実際の生産現場で確認できる環境を創出する。

(3) 県負担・補助率の考え方

省力化効果や効率豊かな営農体系の構築に資する機器を用意、貸し出し、スマート農業技術の効果を実証することにより、スマート農業技術の導入促進を図り、県農業の維持・発展するために必要であり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
役務費	971	貸出機傷害保険料、クラウド利用料、免許取得費
備品購入費	14,388	リモコン式草刈機、農業用無人農薬散布機、スマートグラス、環境モニタリング装置等
合計	15,359	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置付け

- ・ 「清流の国ぎふ」創生総合戦略（2019～2023年度）
Ⅱ－3－（3）－② 「未来につながる農業づくり」の推進
- ・ ぎふ農業・農村基本計画（2021～2025年度）
第6章 ③本格的な人口減少下でのスマート農業の全県展開
- ・ 岐阜県スマート農業推進計画（2019～2023年度）
重点施策（1）情報集約・発信

(2) 後年度の財政負担

- ・ 機器の保守・メンテナンス等、次年度以降の継続した財政負担が必要。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 省力化効果や効率駆な営農体系の構築に資する機器を農業者が実際の生産現場で使用できる機会を創出することで、スマート農業技術の導入・普及を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
スマート農業技術導入経営体数	1 1 6 <small>（H29）</small>	1 6 8 <small>（H30）</small>	2 3 8 <small>（R 元）</small>	3 4 5 <small>（R2）</small>	5 5 0 <small>（R5 ）</small>	6 2 %
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 スマート農業機器であるリモコン式草刈機を4機種（各1台）、アシストスーツを4機種（各1台）、自動追従運搬車2機種（各1台）、環境モニタリング装置1機種（50台）を導入し、農業者への貸出を行いスマート農業機器の普及を図った。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 スマート農業機器貸出実績
 リモコン式草刈機：17件
 アシストスーツ　：7件
 スマート農業機器の貸出事業を通じて、スマート農業技術の効果等を広く普及することで導入する経営体数の拡大が見込まれる。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	スマート農業技術の導入・普及が進むことで、農業経営規模の拡大や高品質生産が進むことから、事業の必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	スマート農業機器を貸出し生産現場で使用することで、効果が実感でき導入に繋がっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) △	貸出機器の予約管理がスムーズにできるよう、オンライン化を目指す必要がある。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>スマート農業技術の導入・普及を促進するためには、農業者に対して、貸出事業の充実、各地域での実証検討を通じて、地理的条件や品目に応じた技術導入の効果やメリットについての理解促進を図る必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>県農業の抱える課題解決のために、スマート農業が大きな役割を担っていることから、今後も継続して、地域の実情に即したスマート農業技術の県内への導入・普及を図っている必要がある。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	